

資料-1 FORCA スtrandシート:種類と性能-1

品番	繊維種類	繊維目付 ^{*1)} g/m ²	設計厚さ ^{*2)} mm	引張強度 ^{*3)} N/mm ²	引張弾性率 ^{*3)} N/mm ²
FSS-HT-600	炭素繊維(高強度)	600	0.333	3,400	2.45 × 10 ⁵
FSS-MM-600	炭素繊維(中弾性)	600	0.330	2,900	3.9 × 10 ⁵
FSS-MM-700	炭素繊維(中弾性)	700	0.385	2,900	3.9 × 10 ⁵
FSS-HM-600	炭素繊維(高弾性)	600	0.286	1,900	6.4 × 10 ⁵
FSS-HM-750	炭素繊維(高弾性)	750	0.357	1,900	6.4 × 10 ⁵
FSS-HM-900	炭素繊維(高弾性)	900	0.429	1,900	6.4 × 10 ⁵
FSS-HM-1500 ^{*4)}	炭素繊維(高弾性)	1,500	0.714	1,900	6.4 × 10 ⁵
FSS-AK-90	アラミド繊維	623	0.430	2,060	1.18 × 10 ⁵
FSS-AK-120	アラミド繊維	830	0.572	2,060	1.18 × 10 ⁵

➤ 高強度炭素繊維 弾性率について

発注者および関連諸機関の指針等では独自の規格値を採用している場合があります。

詳細はお問い合わせください。

(参考) JR 各社、日本建築防災協会等の設計弾性率:2.30 × 10⁵ N/mm²

➤ その他の繊維目付についてもご相談を承ります。

➤ *1)連続繊維ロッドの本数から算定となります。

➤ *2)設計厚さは強化繊維の断面積から算定した補強計算用のシート厚さです。

実際の現場での施工厚さとは異なります。

➤ *3)引張強度、引張弾性率は JIS A 1191 または土木学会基準 JSCE-E 541-2013 による試験方法にて上記性能を確認しております。

➤ *4)FSS-HM-1500 を用いた設計および施工の際は、担当者までお尋ね下さるようお願いいたします。

*** ご注意 ***

この資料に記載された数値は、原則として参考値です。

この資料に記載された製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

資料-2 プライマー・パテ兼用接着樹脂の種類と性能

基本性能

項目	性状と物性	備考
材質	エポキシ樹脂	無溶剤・2液・常温硬化型
圧縮強度	35N/mm ² 以上	JIS K 7181に準ずる
圧縮弾性係数	1,000N/mm ² 以上	JIS K 7181に準ずる
引張剪断強度	15N/mm ² 以上	JIS K 6850に準ずる
コンクリート付着強度 ^{*1)}	1.9N/mm ² 以上	JIS A 6909 ^{*2)} または JSCE-E 545-2013 ^{*3)} に準ずる

種類と特徴

品番	適用温度 (°C)	可使時間 ^{*4)} (分)@23°C	硬化乾燥時間 ^{*5)} (時間)@23°C	主剤:硬化剤 (重量比)	
FB-E7S	夏用	15~35	110	13	4:1
	冬用	5~20	30	8	4:1

- *1) コンクリート付着強度は材料単独での物性であり、現場での施工品質管理値とは異なります。
- *2) JIS A 6909 「建築用仕上げ塗材」発熱温度上昇法にて測定
- *3) 土木学会規準 JSCE-E 545-2013 「連続繊維シートとコンクリートとの接着試験方法」
- *4) 発熱温度上昇法にて測定
- *5) ガードナー式またはドライングレコーダー式ゲル化時間法にて測定(ゲル化終了時間)
- 可使時間、乾燥時間の数値は平均的な目安値です。

*** ご注意 ***

この資料に記載された数値は、原則として参考値です。

この資料に記載された製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

資料-3 床版上面補強用プライマー兼用 接着樹脂の種類と性能

基本性能

項目	性状と物性	備考
材質	エポキシ樹脂	2液・常温硬化型
コンクリート付着強度*1)	1.5N/mm ² 以上	JIS A 6909*2)

種類と特徴

		適用温度 (°C)	可使用時間*3) (分)@23°C	乾燥時間*4) (時間)@23°C	主剤：硬化剤 (重量比)	性状	おもな用途
FP-WEC	春秋用	10~25	38	3 *5)	5 : 1	無溶剤系	床版上面補強 (FB-JU1併用)
	夏用	15~35	75	4 *5)	5 : 1	無溶剤系	
	冬用	5~15	12	3 *5)	5 : 1	無溶剤系	

- *1)コンクリート付着強度は、材料単独での物性であり、現場での施工品質管理値とは異なります
- *2)JIS A 6909「建築用仕上げ塗材」
- *3)発熱温度上昇法にて測定
- *4)ガードナー式またはドライングレコーダー式ゲル化時間法にて測定(ゲル化終了時間)
- *5)専用セメントモルタル FB-JU1 と組み合わせた場合の乾燥時間となります
- 可使用時間、乾燥時間の数値は平均的な目安値です。

資料-4 超速硬繊維混合型ポリマーセメントモルタルの性能

種類と特徴

床版上面ストランドシート施工用超速硬繊維混合型ポリマーセメントモルタルです。

品番	適用温度 (°C)	ハンドリングタイム (分)*1)	圧縮強度 (3時間) (N/mm ²)	配合比 粉体：繊維：水 (重量比)	性状
FB-JU1	通年用	5~35	30以上	25 : 0.068 : 4.25*2)	左官用モルタル

- *1) 別途ジェットセッターRS(硬化遅延剤)を使用します
- *2) 温度別水量硬化遅延添加量は、別紙配合表によるものとします。
- 専用プライマーFP-WEC の使用が必須となります

*** ご注意 ***

この資料に記載された数値は、原則として参考値です。
この資料に記載された製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。